

第3回県立成人病センター運営懇話会議事要旨

1 日 時 平成15年9月5日(金) 15:00~16:40

2 場 所 県立成人病センター 2階大会議室

3 議事要旨

(1)「病院構造改革推進方策(案)」について

事務局 「病院構造改革推進方策(案)」について説明

委 員 患者サービスの向上に当たってのIT化の推進の中で、オーダーリングがあげられているが、医師の負担が大きくなるのではないか。

事務局 オーダリングについては、現在準備中の段階であるが、医師の負担にならないような方策を考えていきたい。

委 員 オーダリングを入れたがために、患者との面談時間が減ったりすることのないように留意して欲しい。また、入力ミスが起こらないようにチェック体制などをしっかりと作って欲しい。

委 員 今年、SARSの対応で大きな騒動があった。一応、保健所を中心とした体制が作られているが、医療機関の対応として県立病院の対応はどうなっているのか。

事務局 SARSは第1種の感染症に指定され、より厳格な対応が求められるようになった。医療機関として、完璧に対処できるのは神戸中央市民病院のみで、赤穂市民病院、姫路日赤病院などもこれに準じた対応ができる。当センターも対応マニュアルを策定しており、搬送についても保健所と連携して体制を作っているが、当地域では明石市民病院、医師会医療センターと当センターが連携して対処する必要がある。今のところ、県立病院での収容は考えられない。

委 員 もし実際に発生したら大きな問題になり、対応が難しいだろう。

委 員 かかりつけの医師がSARSをみつけたら、どこへ連絡するのか。

委 員 保健所へ連絡することになる。

会長 SARSについては保健所を中心とした体制ができており、当地域でも市民病院や当センターが外来診療に当たってもらえるだろうが、搬送や収容は課題が多い。

事務局 SARSについては、県下の保健所毎に体制が構築されている。

会長 体制の構築はなされているが、実際の対応には難しい問題も出てくるだろう。

事務局 当センターでも、隔離して診察する体制をとっているが、入院患者の多

くは癌患者であり、抵抗力が弱く、院内で発生すると大変なことになるだろう。

委員 発生した地域の消毒は誰が行うのか。

委員 消毒は自治体が責任を持って行う。

委員 オーダリングの導入で院外処方箋の全面発行となるのか。

事務局 同時に実施しないと無駄が多い。17年度実施予定である。

委員 職員の意識改革の具体的取り組みとして、民間病院への派遣研修が行われているがどのようなものか。

事務局 スタッフレベルの職員を派遣し、研修終了後、伝達講習を行っている。具体的数値を含んだ目標を掲げ、行動に移しながら、意識改革を図ろうとしている。

委員 期間はどの程度か。

事務局 14年度より始まったものであり、期間は2週間、14年度は聖マリア病院で研修した。

委員 看護部職員の経営に関する意識改革はどのように行っているか。

事務局 毎月の運営協議会で経営状況を議論しており、看護長レベルには目標管理の中に経営上の数値も入れている。また、部長・次長で民間病院の視察も行った。

委員 安心してかけられる病院の実現のためには、診療機能のことだけではなく、心理面からのフォローなども大切になってくる。最近、いろんな分野でPTSDへの対応や臨床心理士の配置の必要性が言われている。がんの専門病院としてはこのことは重要だと思う。

事務局 癌患者の苦痛は、身体的な面、精神的な面、社会的な面、そして哲学的な面で対処する必要があるとされている。身体的な面では、緩和医療実行委員会を設置するなどして緩和医療の推進を図っており、精神的な面では、光風病院精神科医のコンサルタントを受けたり、当センター医師・看護師が対応しているが、常勤の精神科医の必要性を感じる。また、社会的な面では、今年度からMSWの配置も行っている。

会長 次のことについて状況をお聞きしたい。

緩和ケア病棟の設置計画

骨髄移植の病床が少なく市外の病院に頼まざるを得ない状況もある。拡充を考えているか。

診療科目の見直しについては、疾患別、臓器別などを考えられていると思うのだが、がんの専門病院としてどう考えているのか。

機能評価について保留になっているということだが、今の状況はどうなっているのか。

- 事務局 いずれの質問も当センターの根幹に関わる大きな問題である。良質な医療の確保、癌に特化した医療の提供、地域の中核病院であると同時に県下の癌の専門病院という役割などを考え、病院名称の変更も視野に入れて考えている。また、県立加古川病院との役割分担も考えていく必要がある。
- 緩和ケア病棟設置の具体的な計画はないが、MSWの配置、ペインコントロールの実施、緩和ケアに関する様々なノウハウの蓄積などを行っている。
- 今年度4月から血液内科の専門医を増やして体制の強化を図ったが、増床までには至っていない。
- 循環器内科分野や糖尿病の患者の減少、がん中心の病院運営、粒子線医療センターとの連携などのことを考えると、診療科目の見直しは不可避と考えている。
- 事務局 機能評価については、評価機構側から改善すべき事項を指摘され、その改善作業中である。
- 委員 明石地域は医療環境に恵まれている。当センターについても、あらゆることを望むのではなく、専門的な機能を強化していくべきである。大きな病院で待ち時間が長い原因の一つに病院に行かなくていいような人まで行くからだと思う。開業医とも連携して、各々の機能をはっきりさせるべきである。
- 事務局 個々の病院のキャパシティが決まっている以上、役割分担が大切である。
- 委員 かかりつけ医制度について、病院としても推進、啓発していく必要がある。
- 会長 地域医療連携については、今まで力を入れてやってきた。患者紹介システムの確立、連携室の設置、高額医療機器の共同利用などが進んできている。
- 事務局 高額医療機器の共同利用については、近々、インターネットなども使って積極的に推進していくこととしている。患者紹介も進んできたが、紹介FAXの受付が17時までとなっており、診療所医師の夕方の診察に対応できていない。
- 会長 地域医療連携の中で、訪問看護事業との連携が皆無ではないか。
- 事務局 訪問看護に係る連絡会を立ち上げたところであり、これからも密接に連携していきたい。
- 会長 医師会としては、訪問看護に力を入れているが、病院がまだ理解していない。
- 事務局 今年5月にMSWを配置しており、これから力を入れていきたい。

事務局 地域の病院との連携に関してだが、手術室を増設して6月から稼働させているが、手術について一定件数を実施しないと診療報酬点数が下がる仕組みになっているという事情もあり、そのような患者が集まってきており、待ち日数の減につながっていない。また、診療科目の見直しについては、癌に特化していく方向であり、今年度、乳腺科を独立させた。

会長 方策（案）にオープン病床の設置が上げられているが、県立病院でどこか実施しているのか。

事務局 尼崎病院などが実施していると思う。当センターでも、オープン病床の定義に当てはまるかどうかはわからないが、以前に市医師会と取り決めを作って実施したことがある。しかし、あまり動かず、立ち消えになった経緯がある。

会長 医師会の医療センターではオープン病床を実施している。

事務局 実質的に当センターの医師と診療所の医師が連絡を取り合って診療に当たってもらうのはかまわないのだが――。

委員 この推進方策（案）に示されていることについて、当センターとしてどこまでできるのか、また、何年でやるのか。

事務局 診療科目の見直しや病床配分については、当センターとしての案を確定させて16年4月から実行したいと考えている。

事務局 当センターの基本的な役割については、この推進方策（案）にがんに対する専門医療を実施するということが明記されている。

委員 リスクマネージャーの資格要件、配置はどうなっているか。

事務局 特別の資格は不要であり、各部署に配置している。

事務局 日本看護協会が作っているような資格のガイドラインはある。リスクマネージャーは、現場に即した対応が大切であり、実践的な研修が必要である。

事務局 様々なニアミスもあり、対応に当たってはリスクマネージャーの役割が大きい。

会長 この推進方策の具体の実施については、これからも議論させていただきたい。

（２）その他

事務局 3月に開催した第2回の懇話会において出された「患者サービス」に係る意見・要望についての対応状況を説明したい。

給食に関すること

- ・ 味付けのりと佃煮と一緒に出される

これは、選択制になっており、献立上は同時に出されるこ

とはあり得ないが、誤配膳の可能性はあったこと

- ・ 豆腐、大根、里芋、白みそといったおかずが多く、青赤色のおかずがない

青赤色のおかずとは野菜のことと思われるが、これは従来から積極的に使うようにしている。なお、昨年度までは豆腐が非常に多かったので、今年度からはバランスよく出すように改めた。

- ・ 選択メニューの実施

今後検討していくことにしているが、このことよりも給食の質の向上を図っていく方が大切であるとの意見もある。

風呂のタイルのカビが目立つ

強い薬品を使って防ぐ方法もあるが、良くない面もあり、清掃業者に指導し、改善に努めていきたい。

医薬分業の進捗状況

オーダリング実施の際に行うべく準備している。

患者の満足や不満の具体的中身をつかむことが必要

今年度、全県立病院において具体的内容に係るアンケート調査を行うこととしている。

(3) 閉 会

会長 それでは、これで本日の議事を終了します。ご協力ありがとうございました。最後に事務局からの連絡事項をお願いします。

事務局 長時間に渡るご審議ありがとうございました。なお、次回の懇話会の開催につきましては、改めて日程調整をさせていただきます。
以上で本日の懇話会を終わらせていただきます。